

KOREA Report

January 2014

CONTENTS

- * Project 1: Heineken Korea Office
- * Project 2: AID Cafe

1. Heineken Korea Office

Project Overview

Heineken Korea Office はコミュニケーションと柔軟性を大事にする Heineken の哲学がみえる空間である。単純な業務空間ではなく文化空間としての役割もする。

Heineken Korea の最も大きい特徴は開放性だ。各部署ごとにルームに別れて円滑なコミュニケーションを遮っていた壁をなくす代わりに個人の空間は尊重しながらみんなが目を合わせられるようにデザインされている。机の配列と低いパーティションは開放的で柔軟な社内雰囲気を造成する。社員同士の会話を引き出し、より効率的な業務ができるようにしている。

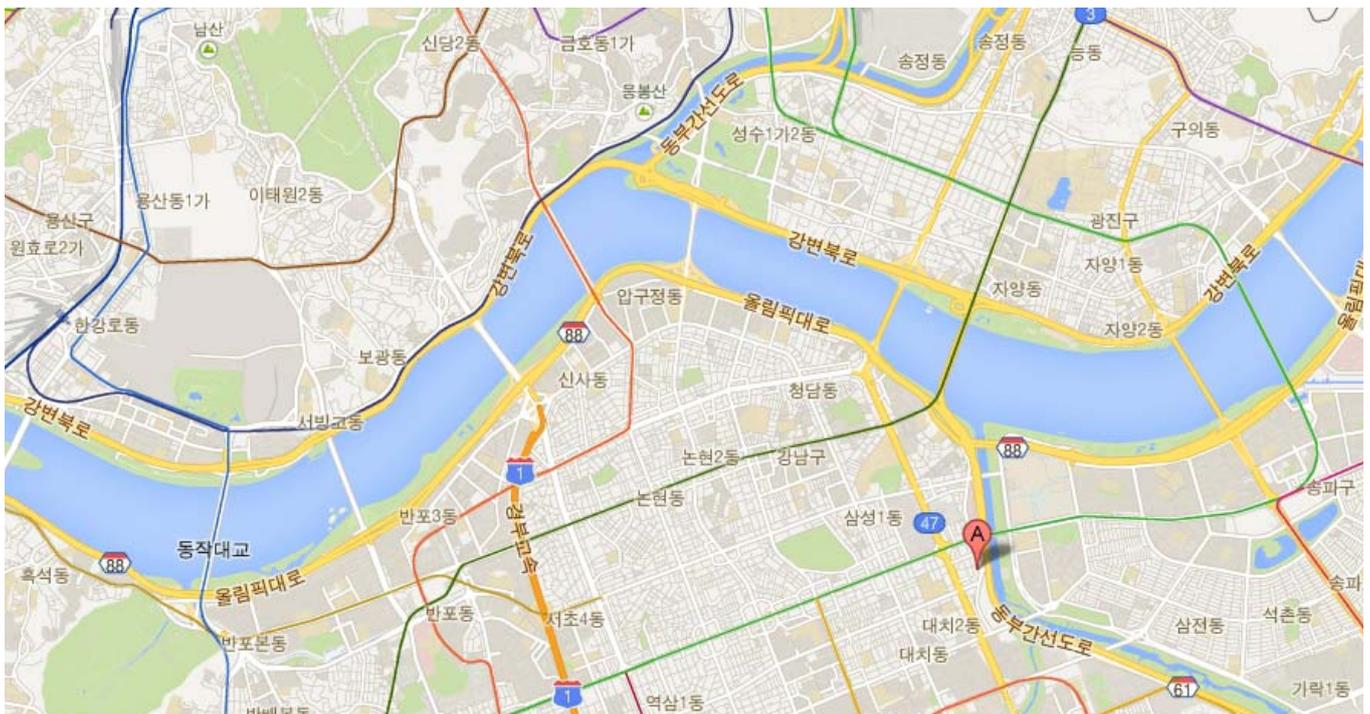
そして、企業の透明性と解放性を象徴できるように中が見えるガラスで外壁を仕上げたデザイン効果が優れている Heineken のビール瓶で飾り、芸術的に完成し、息する空間に生まれた。

特に Heineken Korea に入って見える広い空間は Entertaining area と呼ばれる多目的空間である。ここは全ての社員が自由に集まり、コミュニケーションできるようにオフィスの中央に位置し、Heineken の文化を代弁している。ここは景色と一緒に本を読む空間であるライブラリー、みんな集まってコーヒーを飲めるカフェ、開放感ある会議空間などで構成されている。この空間で最も注目するところは世界的なプレミアムビール会社らしく業務が終了する6時以後は生ビールを飲めるバーがある。

Project Details

1. Brand: Heineken Korea Office
2. Type of Business: Office
3. Open Date: 09/2012
4. Size: 1,250m2
5. Location: 1004, Daechi 2-dong, Gangnam-gu, Seoul, Korea

Location Map









2. AID Cafe

Project Overview

AID Café はインテリアデザイナー (KIM PAKSUN) が直営している BOOK CAFÉ だ。

彼はデザイン業務を20年以上やってきてコミュニケーションについて改めて考えるようになった。仕事しながらクライアントに会っていると学ぶことが沢山あるが、堅苦しく事務所の中だけで話すのではなくもう少し長い時間をリラックスして一緒に出るコミュニケーションの場をつくってみようと思ったが企画意図になっているようだ。

コミュニティースペースインテリアデザイン会社の名を連ねてオープンした分、地下にはコミュニティースペースを設けてデザイン関連のコンテンツ会議、展示、ミーティングなどができるようにした。

12月にはデザイナーとバリスターがお互い新しい分野について学べるようにバリスターとデザイナーの出会い、ALTOの照明講義、フリーマーケットなど色々なイベントを計画している。

作品の展示と広報、今まで PAKSUN DESIGN STUDIO でやっていたプロジェクトの作業を見られるように作業した写真を展示し、自然に広報できる空間になっている。

Project Details

1. Brand: AID Cafe
2. Type of Business: Cafe
3. Open Date: 11/2013
4. Size: 1F - 168m², B1 - 207m²
5. Location: 8-13, Nonhyeon 1-dong, Gangnam-gu, Seoul, Korea
6. <http://www.aidcafe.co.kr/>

Location Map

